



学校だより

第 344 号

令和 3 年 10 月 27 日
横浜市立六浦南小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitsuuraminami/> Tel 785-3244 Fax 783-6984

本校学校教育目標：健康で笑顔がすてきな子

校長 田村 憲一



10月14日は30周年記念式典。感染症の影響で1年以上も延期し、ようやくと思ったところ、さらに雨で2日延期するという事態。私の雨男ぶりにも負けず、子どもたちも職員も、よく集中を切らさずに取り組んでくれました。

校歌の中で私が好きなのは、「六浦南の子どもたち」というところです。「六浦南小学校～♪」ではなく、「六浦南の子どもたち～♪」なのです。やっぱり学校の主役は子どもたち。そんな開校当初の願いが感じられる歌詞です。

「ぼくは夢は見ない 常に目標を掲げる」

先日引退をした「平成の怪物」松坂投手。私が衝撃的に記憶しているのは、そのデビュー戦。片岡選手との対戦です。片岡選手の渾身のフルスイングは、松坂投手の155キロのストレートに空を切りました。相手を本気にさせ、それでも勝負に負けないところが、松坂投手の凄さなのかもしれません。見出しの「ぼくは夢は見ない 常に目標を掲げる」は、そんな松坂投手の言葉です。

先日の終業式と始業式。代表の児童一人ひとりが、「目標」を語っていました。「忘れ物を少なくしたい。」「今年の6年生のような、頼れる6年生になりたい」「かけ算九九を全部覚えてじゅもんみたいに言えるようにがんばる。」「来年のクラブ活動で、今の56年生のように優しく接したい。」「子どもたちが語ってくれたのは、間違いなく「目標」です。一緒にがんばってくれる仲間。片岡選手のように本気で向かってきてくれる仲間。そんな仲間を大切に、目標に近づいていってほしいと願っています。

ところで、以前ポップスピアニストの「ハラミちゃん」が出演しているテレビ番組を見ました。印象的だったのは、「目標を作らないことを目標にしている」という言葉です。

「目標をひとつでも叶えた人が人生の勝ち組」という価値観に苦しんだ結果として、たどり着いた考え方なのだそうです。真逆のような二人ですが、どちらも輝きを放っています。自分らしく生きていくためにつかんだ、彼らなりの哲学なのかもしれません。